

竹取公園西地区地区計画（仮称）素案について

1 背景・経過

タビオ奈良株式会社は、これまで、靴下の物流業務、品質検査・研究業務を営んできており、今後、全国の個人向け配送機能を拡充するため、新物流センターの建設を計画しています。広陵町は、当該新物流センター建設予定地及び既存施設を含む区域を対象に、**靴下産業の活性化、技術継承及び情報発信等を目的とした地区計画の策定**に向けて、この間、内容の検討を進めてきたところです。

この度、地区計画の素案が完成したことから、住民の皆様のご意見をうかがうため、住民説明会を開催することとしました。

新物流センターの概要

事業内容：町内工場からの靴下商品の納品、国内外店舗・個人（通販）への出荷
基本営業時間：9:00～17:30（平日は商品の納品・出荷、土日祝は通販事業のみ出荷）

2 地区計画策定の背景・必要性

本町の靴下製造業は、国内生産高日本一を誇る産地として大きく成長してきました。

しかし、近年は、輸入品との競合により生産量は大幅に低下し、靴下関連事業所数は減少している状況にあります。今後、靴下産業の維持発展及び技術の継承を図るとともに、町内外への情報発信を推進する上では、全国への販売網の確立やインターネット通販の拡充が必要であり、本地区において靴下の研究・開発機能を担っている既存施設に加えて、物流機能を導入した新たな拠点形成を図ることが求められています。

他方、本地区は市街化調整区域内に含まれるため、無秩序な市街化を抑制する観点から、本計画の策定によって区域の整備、開発及び保全の方針等を定め、既存の住宅及び自然景観と調和した産業拠点にふさわしいまちづくりを図る必要があります。

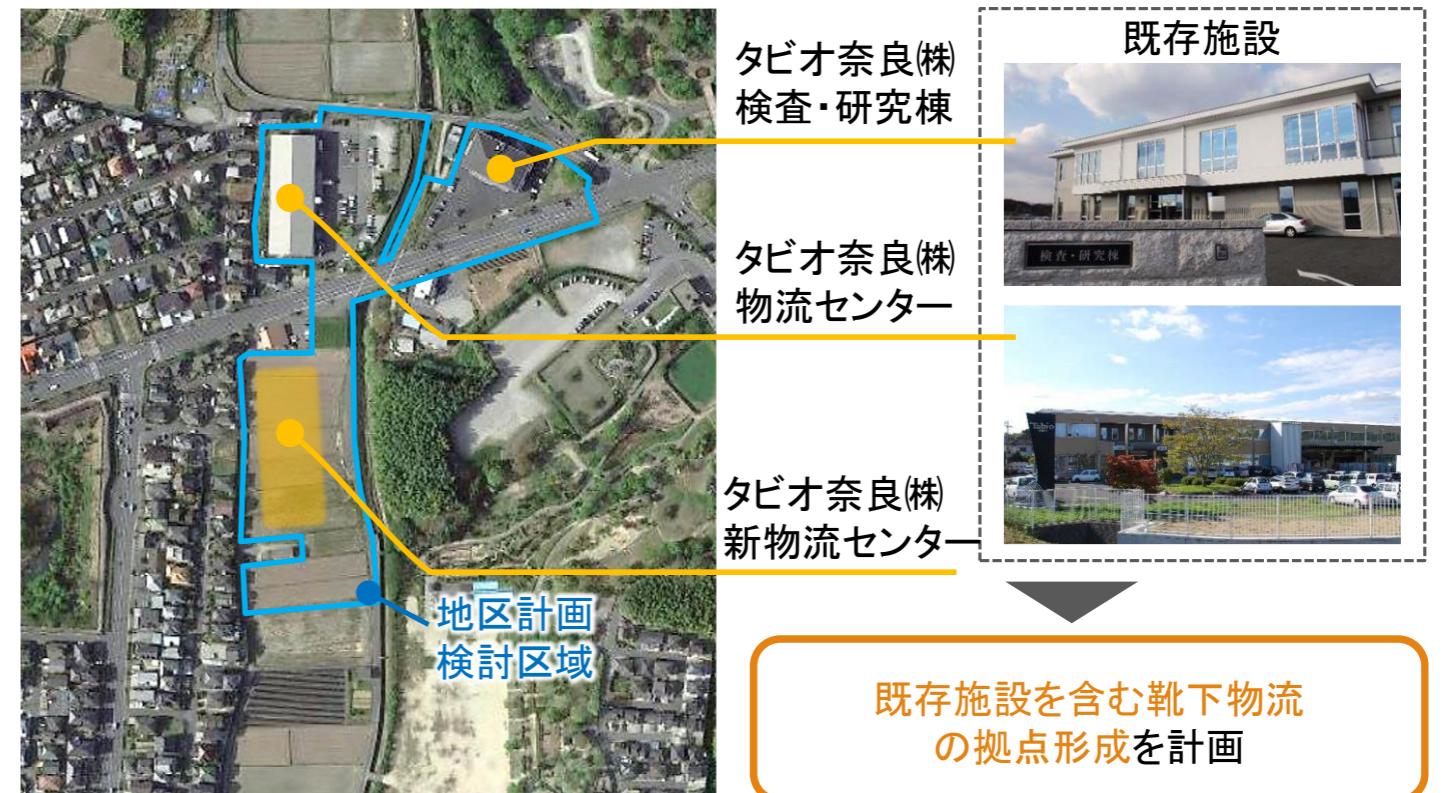
以上を踏まえ、本地区計画では、地場産業である靴下産業の活性化、技術の継承及び情報発信を推進するため、既存の住宅環境及び自然景観に配慮しつつ研究・流通等の産業拠点を形成し、住宅や自然景観との共存・調和が図られるよう適正かつ合理的な土地利用を図り、健全な郊外の形成を行い、それを保持することを目標とします。

3 スケジュール（案）

R 2.11.14	住民説明会
R 3. 4	地区計画の原案完成
R 3. 8	地区計画案の公告・縦覧
R 3.10	都市計画審議会
R 3.11	知事協議
R 4年度	地区計画決定
R 5年度	工事着手

4 地区計画（素案）の概要

名称	竹取公園西地区地区計画（仮称）
地区計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> 靴下産業の活性化・技術継承・情報発信 研究・流通の産業拠点の形成 住宅・自然環境との共存・調和 不良な街区環境の形成防止
土地利用の方針	<ul style="list-style-type: none"> 研究・流通施設に併せて産業関連施設を集積 周辺住宅地・自然景観に配慮した計画的な開発の誘導



竹取公園西地区地区計画（仮称）素案の説明会

日 時 令和2年11月14日（土）
13:30～ 1班（馬見北1丁目・馬見北3丁目・齊音寺）
15:30～ 2班（馬見北4丁目）
場 所 タビオ奈良(株) 検査・研究棟 2階 会議室

次 第

	(1 班)	(2 班)
1 開 会	13:30～13:35	15:30～15:35
2 地区計画の説明	13:35～14:05	15:35～16:05
3 事業紹介	14:05～14:15	16:05～16:15
4 質疑応答	14:15～14:30	16:15～16:30
5 閉 会	～14:30	～16:30
6 施設見学	14:30～15:15	16:30～17:15